

3. コロナ感染者への誹謗中傷に対する市の対応についてお聞きします。

わが国では感染防止対策を維持しながら、一方で社会生活を維持するという日本式の感染対策を行ってまいりました。感染拡大防止のためには休業要請など経済活動を制約することが効果が出る場所ですが、コロナ感染症で亡くならなくても失業や倒産など経済でなくなる人が出てきます。感染防止対策と社会経済活動を両立させる、双方の命を守ることが大命題となります。しかし同時に通常の社会生活をおくる中では、市中には症状が出るまでの潜伏期にある人、無症状の陽性者など・・・陽性者がまん延している可能性が大きいと言わなければなりません。誰にでも感染のリスクが隣り合わせにあり、私は感染者かもしれませし、みなさんも感染者かもしれ

2009 第 3 回定例会 中西個人質問

ません。感染は誰にでも起こり得て、1,2 年後には半分くらいの日本人が感染している可能性があるという説もあります。多分みなさんの大部分は、自分は感染者ではなく無関係だと思われている人がほとんどではないかと思うのですが、私自身も自分は感染とは無縁だと考えていた一人でした。近所でクラスターが発生し自分も濃厚接触者の一人として検査する立場になって、はじめてコロナ感染症が身近に感じられるようになりました。幸い陰性の結果でしたが、私への目も違ったように感じましたし、集団感染者が行った飲食店は市から濃厚接触者であるという判定は受けていないのに、なぜ営業するのかと匿名の嫌がらせの電話が数件あったと相談を受けました。

ラグビー部の寮で集団感染が発生した大学では、その大学に所属しているというだ

2009 第 3 回定例会 中西個人質問

けでバイト先から出勤を見合わせるよう求められたり、教育実習先から実習の受け入れを拒否されたといいます。インターネット上で、感染者やその家族に対する差別や中傷する書き込みが、大きな社会問題にもなっています。

市としてこのような差別を受けた人や不当な取り扱いを受けた人が相談する窓口などはあるのでしょうか。またいま全国的に感染者への誹謗中傷、不当な差別的言動を禁止する条例を制定する動きが盛んにありますが、市としてどのようにお考えですか。

2009 第 3 回定例会 中西個人質問